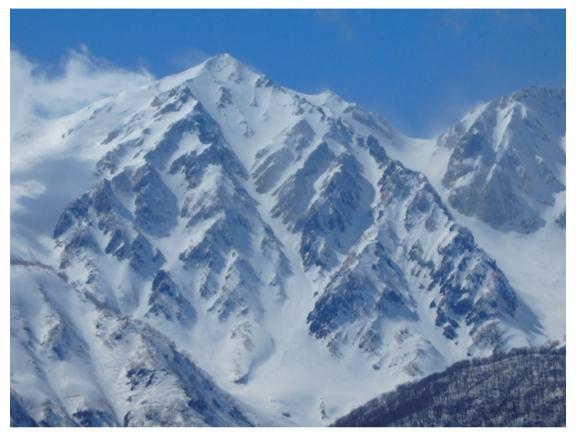
# 大阪労山ニュース 2020.5月号 No.411



4月14日に白馬村の国道からコンパクトデジカメで望遠ズーム撮影した白馬鑓ヶ岳 泉州労山 鈴木 均さん

### 目次

- ① Voice 大阪労山「山の教室」の今後 事務局・泉州労山 木村治朗
- ②大阪府勤労者山岳連盟のみなさまへ 理事長 園敏雄
- ③教育遭対部のページ
- ④「冬」がなかった今シーズンの白馬村 泉州労山 鈴木均
- ⑤山樂登山の世界 26 新型コロナウイルス COVID-19 OWCC 中川和道
- ⑥自然保護のページ
- ⑦中級だより・編集後記

# 大阪府勤労者山岳連盟

- ☞ 553-0006 福島区吉野 3-2-35 一般社団法人 大阪宣伝センター機関紙会館内
- **8** 06-6467-8544 FAX06-6467-8545

# Voice.... 大阪労山「山の教室」の今後…

### 事務局 泉州労山 木村治朗

年明けくらいから耳にするようになった「新型コロナウィルス」。 最初は大変な騒ぎだなぁと ニュースを眺めている程度でしたが、あれよあれよという間に世界中に飛び火し、とうとう日本 でも緊急事態宣言となり、今やいつ収束するかも見えない不自由な毎日が続いています。

医療や行政、インフラ、衛生関連企業等、昼夜を問わず、感染の危険に冒されながら頑張っていただいてる皆さまに深く感謝します。また多くの業界が休業や自粛によって経済活動を封じられ、いつ破綻を迎えてもおかしくない不安な毎日を過ごされていることと思います。かといって「何ができる?」かといえば「家に居る」しかできないのが現状であり、「山の教室」でも家に居ながらにしてできる事を前向きに進めていくしかないと考えています。

### 1. 4、5月の講座

4、5月の講座は無期限の延期とさせていただきます。この新型コロナウィルスが収束してから日程調整が可能であれば、ぜひ開催したいと考えています。

- 4/8,12 ハイキングレスキュー(入門編)座学/実技
- 4/21 パーティー論リーダー論(入門編)座学
- 5/13,17 ハイキングレスキュー(リーダー編)座学/実技
- 5/16,17 地形図の読み方(入門編)座学/実技
- 5/20 夏山の気象 入門 座学

### 2. 6、7月の講座

こちらの講座は医師である講師のご負担となるので中止とさせていただきます。

● 6/2 応急手当(入門編)座学

以下の講座は、WEB会議システム(Zoomを予定)を利用したリモート講座を実施すべく 準備中です。

- 6/10 高層天気図の基礎 座学
- 6/16 遭難事例研究(入門編) 座学
- 6/24 温室効果ガスによる気候変動 座学
- 7/14 遭難事例研究(実用編)座学

### 3. Zoom に関して

昔からあるのですが、今テレワークを求められている世の中で急速に需要が増えているテレビ会議システムです。基本ソフトは無料ですし、ソフト無しでもブラウザで参加可能です。PCがなくてもスマホやタブレットでも参加可能です。(通信費がかかるので Wi-Fi 環境が推奨) いきなりは敷居が高いと思われるので、これから 5 月いっぱいで複数回 Zoom の体験教室(無料)を開催する予定でいます。OWAF-ML でご案内させていただきます。最近話題の「オンライン飲み会」でも使われています。ぜひ一度体験してみてください。

### 4. キャッシュレス決済

「山の教室」をリモートでの開催時はキャッシュレス決済(Paypay/LINE Pay/d 払いを予定)にて受講料を徴収させいただく予定です。今のコロナ対策として、通常のお買い物でも現金のやり取りは非常にリスクがありますので、まだ使われていない方はこれを機会に導入されてはいかがでしょうか? このご説明も Zoom 体験教室でさせていただく予定です。

### 大阪府勤労者山岳連盟のみなさまへ

2020年4月10日 理事長 園 敏雄

### 1. 皆で感染を防ぎましょう。外出を控えましょう

拡大が続く新型コロナウイルス被害を今食い止めることは国民的課題です。

4月7日、大阪をはじめとする7都府県に対して、政府は「緊急事態宣言」を出し、他人との接触を80%減らすため、5月6日までの外出自粛などを要請しています。この「宣言」の成立の前から、国民の権利の制限をどう減らすかが国会でも議論されてきました。登山が国民の権利であり文化であるという労山の立場から、登山が過度に制限されることをさけつつ、このウィルス被害の拡大をおさえていきましょう。外出を控えましょう。

### 2. 人と人との接触機会を最低7割、極力8割削減しましょう

都市部のみなさまは、不要不急の外出を、まず 5 月 6 日まで控えて下さい。公共交通機関の利用や友人との自家用車利用などで、感染リスクが高まります。自分の感染に気づかないまま他の方々にウィルスを広げてしまう危険性も指摘されています。

とは言え、自宅に閉じこもり続けることは、精神的負担のみならず身体的負担も大きいものがあります。家の中での運動に加え、野外環境での適度な散歩、ジョギング、徒歩近場での軽ハイキングなどを行うことは適切だと考えられます。リハビリを欠かせないなどそれぞれの事情をもつ方もおられることを考えると、一律に外出を自粛せよという訳ではありません。

外出のさいには、いわゆる3密(密閉,密集,密接)を必ず避け、新型コロナウイルス被害拡大を何としても食い止めましょう。

#### 3. 事務所の使用は必要最小限に

4月25日予定の連盟の総会は、無期延期とします。

事務所の利用については、会合は原則とりやめとし、各会の棚の利用, 印刷機の利用など最小限に抑えて下さい。機関紙「大阪労山ニュース」は発行を継続します。メーリングリストもあわせて活用し、こんな時だからこそこんな工夫をしているなど、交流を深めましょう。

### 4. コロナ感染予防の現場について

保健所・病院の統廃合などの中で、コロナ感染予防の現場は、危険にさらされています。その中に身を投じ懸命につとめている府民、大阪労山の会員がおられます。保育所に子供を預けながら働く仲間のためにも、感染予防のためにも、今、自身が出来得る適切な行動を選びましょう。考えましょう。そして、あなたの思いやりを行動に。

### owaf や理事の皆さんに発表したのは上記のとおりですが、

登山をもっと前面に出す文章であってほしかったとの意見も寄せられました。今回は外出自粛を重点にして出しましたので、5月6日以降は、登山にも焦点をおいて考え直してみたいと思います。皆さんのご意見をお寄せ下さい

# 教育遭対部のページ

# 1. 「山の教室」

「Voice」を参照してください。

# 2. 事故対策会議

5/14 (火) 開催予定の「第19回事故対策会議」は新型コロナ対策のため事態が収束するまで延期します。

# 3. 事故一覧

No.	年月日/ 時間	氏名/ 所属会	山域	状況・要因など
2019 年度 19	2020/2/10 11:30	HY (男性) 55歳 大阪ぽっぽ会	白馬連峰 白馬コルチナ スキー場	2020/2/7~2/11 の日程で山スキー訓練を白馬周辺のスキー場で実施。訓練 3 日目に白馬コルチナスキー場 コルチナ第 4 ペアリフト(最上部リフト)から通称 "裏コルチナ"コースを滑降。コース中間付近で大きな段差を降りた際にスキー板が深雪に刺さり膝を中心にねじるよ際に転倒。自力での下山を行うが、で動力での下山を行うが、で動力でのであり翌 12 日は宿舎で待機後帰阪。
2019 年度 20	2020/2/1 14:30	HM(男性) 47歳 泉州勤労者 山岳会	大峰山脈 稲村ケ岳	稲村ケ岳に単独登山で入山。下山時、 法力峠まで 12 本爪アイゼンを着用 していたが、ほとんど雪もない登山 道であったため、アイゼンを外した。 下山を再開したが、1095m付近で左 足を滑らせ転倒し、左足首を捻挫。 立ち上がると左足に痛みがあったが 通常の 3 倍の時間をかけ自力下山し た。傷病名:左関節捻挫
2019 年度 21	2020/3/7 14:00	KU(男性) 32 歳 豊中勤労者 山岳会 = 数 3 件 (内 昨	六甲山系 不動岩東壁 3級ルート	パートナーと 2 人で不動岩東壁 3 級 ルートの 2 ピッチ目登攀中、バランスを崩して 5~6 メートル落下。その際、岩に身体をぶつけて痛みがあったため登攀を中止し自力で懸垂下降し歩いて下山。 傷病名;左坐骨骨折、両踵骨挫傷(昨年同時期 5 件)

# 「冬」がなかった今シーズンの白馬村

# そして コロナで消えた

泉州労山(白馬村在住) 鈴木 均

白馬村に今年は冬という季節があったのだろうかと思うほど雪が少なかった。少ないというものではなく、ほとんど降らないといったほうがいいかもしれない。「ほとんど降らない」という意味は、これまでの白馬村の感覚であって都会の降雪の感覚ではなく、降っても数センチ程度の日が多かったということだ。大雪警報が発令された日は一日あったか、注意報が3回くらい出されただろうか。それでも車の屋根に15センチ程度積もっただけだ。道路にも除雪車が出動することは少なく、家でも昨シーズン前に購入した除雪機を動かすことは数回だけで、パワーがあるのですぐに終わってしまう。昨シーズンまでは何度も赤い携行タンクにガソリンを満タンにするために近くのスタンドに通ったが、今シ



ーズンは最初に入れただけだ。出かけるときも帰ってきたときも車の出し入れのために除 雪しなければならない年に比べれば、生活は格段に楽だった。

気温が上がると南側の家の前は土が見える日もあり、3月初めには西側なのに蕗の薹が 芽を出し始め、福寿草もいつもなら雪解けの4月だが、3月には早くも顔を出してきた。

年齢とともに雪山に登るのもスキーも少なくなってきたが、この冬は乗鞍善五郎の滝でのアイスクライミングや四阿山の山スキーに行った。統計的には、白馬村近辺の降雪量は平年の2割程度といわれ、八方尾根スキー場ですらゲレンデは下まで滑ることができずゴンドラで下山せざるを得なかった。

なぜかテンションがあがらないまま冬が終わってしまった。だらだらと、なんとなく冬から春へ。いつもなら長い長い冬が終わると、あっちこっちで花が咲き始め、「あー、やっと春が来たなあ」と思うのに、今年はほとんど実感しなかった。

ところが3月31日に、今シーズンで ンチくらい積もっただろうか。4月に入 っても5日頃まで各日くらいに数センチ 積もった。まだ車のタイヤは、もちろん スタッドレスだ。

しかし、ここへきてコロナは白馬近く にも襲ってきた。大町市在住で小谷村に 勤務している男性が他県で感染してき た。



いちばん降って35セ



3月に入ってからスキー客も激減し、例年ならゴールデンウィークまで営業する八方や 五竜等のスキー場もやめてしまった。北ア

ルプスの山小屋もすべて営業をしないと決めた。

家の庭に咲いたフクジュソウとカタクリの花

いま、別荘を所有している都会からの「コロナ疎開」している人以外には他県ナンバー の車はない。シーズンオフのような静かな白馬村だ。 4/15 記

### 新型コロナウイルス COVID-19

OWCC 中川和道 20200412

機関紙部長大西清見さんのご依頼にそって、新型コロナウイルスを生物学・科学の大局からみて、アメリカ、ヨーロッパなどと比較してみよう。学会などで学んだところ[1,2,3]では、(1)人間に有害なウイルスは1%のみ[1]、(2)ウイルスは生物界全体と共存していて互いに変容しつつ動的なバランスをとって、持ちつ持たれつで、世界を保っている[2]、(3)細胞はウイルスを「好意的」に迎え入れるように見える、生物にとっての利益は例えば、ウイルス遺伝子の注入による生命の進化かもしれないと考える研究者も多い[1,2,3]。ウイルスも含めみんなが共生してきた地球で、人類は天然痘ウイルスを絶滅させてしまった。未知のしっぺ返しが怖いという疫学研究者も少なくない。

SARS も MERS もコロナウイルスだから発見時点では毎回「新型」だ。COVID-19 がいい。2020年4月時点でワクチンも治療薬もない。SARS にひどくやられた韓国は教訓として検査体制を拡充し備えていた。日本の被害は韓国よりは軽かったせいか予算は採択されず、国会で質問に上がっていた(田村議員)。大阪でも24あった保健所が1に減らされたという(高橋明代さん情報)。

米国スパイは中国で 12 月上旬にこの肺炎を察知[4]。死の前に訴えた医師を処分し事実を抑え込んだ中国に米国は入国制限をつきつけた。トランプ大統領は「中国は隠した遅らせた」というが、中国は 1 月 12 日にこのウイルスのゲノムを公開[4]、WHO に渡した。人-人感染へのウイルス変容が分かったのが 12 月下旬だからさほど遅くはなく、中国でも医者はえらいと中川は思う。WHO は 1 月 17 日に今の検査手法を認定、世界に交付した。アメリカはここで失敗[4]。WHO の手法ではない独自の検査手法を作ろうとした。全国配布した検査キットは極めて不完全で、気づかぬうちに広く蔓延して今の惨状になった[4]。CDC ともあろうものが、と中川は驚いた。スパイ情報でかせいだ貴重な時間を「大したことはない」という楽観論で浪費したつけは大きいとの見方もある[4]。

上記(1): このウイルスは何かの動物と平穏に共生していたのだろう[2]。エボラもそうだったはずだ。その動物をある人々が勝手に?引きずり出して、人類にウイルスをまきちらした。「野生動物を食べる楽しみ」というのだ。ヒトという新規宿主にとまどうウイルスは必死に変容を試みる。当初は一般に強毒であるが弱毒化変容しついには宿主に鼻水程度で落着き、社会(人口の 7-8 割)に共生する。1918 年パンデミックした H1N1 亜型インフル、「スペイン風邪」[5,6]は変容の過程で一時強毒化した。世界人口 20 億人のうち感染 5 億人死者 5000 万人から 1 億人とも[6]。人口 5500 万人の日本では 1918 年 8 月から 21 年 8 月まで 3 年がかり 3 波の大流行で感染 2380 万人死者 39 万人との内務省まとめ[6]。この教訓から「パンデミックではまず医療者に予防ワクチンと治療薬を投与する」という原則に至った。ところがワクチンも治療薬もない COVID-19 をある人々が引きずり出してしまった。別目的の薬と、米国開発[7]のワクチン 1 年後認可に期待しよう。3 年はいやだ。

放射線環境科学の講義をしていた中川は、思う。福島原発事故の時は浴びた or 浴びてないがはっきりしていたがゆえに毒だとかバイ菌だとかいうひどい差別が生まれた。今回のウイルスは検出できない感染者が明らかに多いがゆえに、全国民が「自分はすでに感染者」と思える状況が近い。みんな平等だ。だのにマスクは買い占められ、せき込む患者さんを診る医療者にマスクがない。医療者やそのご家族をバイ菌扱いし保育所にあの子が来ると困るというその心情こそ、本当に困る。

社会に軟着陸する途中で戸惑い強毒で暴れまわるウイルスによる重症化患者の発生と医療崩壊は絶対に避けなければならない。私たちは未曽有の国民的課題に直面していると中川はつよく思う。

[1]朝日新聞 4/6 科学欄 松浦義治 [2]朝 2/21 神里達博 [3]朝デジ有料版 4/3 福岡伸一

[4]朝日 3/30 [5]朝日 2/23 [6]ウィキペディア「スペインかぜ」 [7] 朝日 3/17

### 自然保護のページ 2020.5

澤村

憲章の実践 4月15日 現在 沢村: <u>sawadesu@ares.eonet.ne.jp</u> までお願いします。
 + 鳥獣・らいちょう目撃レポート 目撃日時、場所、天候と動物の様子をメール下さい。

写真があれば最高です。ただし、標高 500m 以上での目撃に限ります。( ) 内は前年実績

らいちょう 18件(26) 鳥獣 12件(7) 昆虫 0件(0)

+ 倒木対策 9件(13)

3/20、泉州労山が比良・釈迦岳で頭突きしそうな倒木を3本、きこり処理。また、登山道にはみ出した木に思い切り頭突きしてしまったが、朱テープを持参してなかったので "危険表示"出来ず残念。

- + 下山時にクリーンハイクを 1¥1件(3)
- リニア中央新幹線による南アルプスの自然を壊させない署名
  1922 筆発送済み、もう少しで 2000 筆 全国連盟は 15056 筆
- 3. 和歌山・和歌山大学近くの太陽光発電反対署名

2019 年 11 月 署名活動開始 2/15、107 筆手渡し 澤村保管、26 筆 戦跡ハイクと里山調査の際、署名していただきました。パネル崩落の写真などをお見せし てお願いしています。

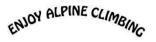
- 4. 6月7日実施のクリーンハイクの準備 3月14日に協力要請文書を大阪府など16自治体に郵送しました。
- 5.3月28日 里山調査 泉南・畦の谷コースに参加

泉州労山の仲間、5人で参加しました。クマゼミのお話しは、さらに面白く、不思議でした。クマゼミは地中で脱皮を繰り返す度に、より太い根に移り住むそうです。根から樹液をたくさん吸うと樹木が衰退しますのでその様にしているとのこと。感心しますね。人間もこの様な気遣いをすれば、地球がこれ程ゆがむことはないと思います。グレタさんに「クマゼミを見習え」と叱られそうです。

6. タンポポ調査 一徳坊山登山口にセイヨウタンポポがびっしり

3日、滝畑ダム近くで6個採取しました。そこでビックリしたのは、一徳坊山の登山口近くの田園風景豊かなたんぼの土手が、セイヨウタンポポで埋め尽くされていました。開発直後の荒れ地は、セイヨウタ ンポポと言われていますが、真逆もある??

\*自然保護委員会 次回は5月14日(木)



# 中級だより2020

### これからアルパインクライミングをめざす人のための学校「中級登山学校」

#### ■3月15日(日)入校審査

中級登山学校説明会から約10日。説明会に参加してくださった多数の方から入校審査の申込みがありました。みなさんの熱意が伝わってきます。入校審査当日、雲一つない見事な快晴の朝を迎え、集合場所である芦屋川駅までの道中、いよいよ始まったという実感で胸がいっぱいになりました。前日の雨の影響でコンディションが心配された地獄谷から風吹岩までのルートはやはり水量が多かったため足元が悪く、途中雪まじりの小雨も降り出しましたが、全員

無事にゴールすることができ、42 期 10 名の受講生が決まりました。いよいよこれからという矢先に未曾有の事態に見舞われ、残念ながら中級登山学校の開校は来年に延期となりましたが、受講生全員が来年も参加と意思表明してくださったので、我々スタッフにとっても大変喜ばしく、来年また全員揃い中級登山学校が開校出来ることを願うばかりです。



#### ■大森校長より「2020年度の中級登山学校について」

今年度は、ご存知の事態となり、開校する事が出来ませんでした。受講生、スタッフにとってもいよいよ始まると云う やる気に満ちていた時に、苦渋の決断をする事になった事は残念でなりません。来年度は、この決定をご理解いた だき引き続き参加表明をしてくれた皆さんと共に、無事に伝統ある中級登山学校を開校できる事を望みます。そして、 全世界が見舞われたこの事態が一刻も早く終息する事を願っております。

### 編集後記(2020年5月号) 文責:大西清見(泉州勤労者山岳会)

新型コロナウイルスの感染が世界中に拡散して国内外とも大変な状況となりました。4月15日現在、感染者198万6986人、死者12万6812人。恐ろしい増え方、恐ろしい数字です。日本でも緊急事態宣言発令後も感染拡大の勢いは止まりません。私の勤務する高校も5月6日まで休校、非常勤講師は自宅待機となりました。政府・大阪府からは外出自粛の要請が出されましたが、早朝のウォーキング・ラジオ体操や午後の読書など新しい日課で4月をこなしています。そんなコロナ騒動で深刻で窮屈な大都市に対して、ふと実家のある京都府伊根町のことを考えました。幾度か帰省をするたび、改めて過疎地域の存在を意識したのです。伊根町は人口約2000人の小さな町ですが、依然コロナゼロの空間です。2月から、4月の今も小中学校は平常授業をやっています。しかも小中学生は医療、修学旅行を含む教育費、給食は無料です。大人も畑や漁業は平常通り、近年、都会から伊根町へIターンが増えているようです。コロナ混乱のこの時期、マイペースで生活できる過疎地域が評価されています。

\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*

今月も各会より会報を送っていただきました。

安治川山の会ニュース(安治川山の会)、やまなかま(泉州労山)、きたろうニュース(きたろうHС)、にしよど(西淀労山)、ぽんぽん山(高槻)、福岡県連通信、労山おかやま、やまと友の会、京都労山、噴煙(鹿児島労山)、兵庫労山会報、県連ニュース(和歌山労山)

発行日 2020年(令和2年)4月20日 No.411

編集・発行 入澤、大西秀、笠井、園、高橋、中井、中尾、大西清